国別開発協力方針　別紙

対モンテネグロ　事業展開計画

2024年　4月　現在

基本方針 （大目標）	持続可能な経済成長に向けた支援

重点分野１ （中目標）	民間セクター開発
開発課題 （小目標） 民間セクター開発	【現状と課題】 モンテネグロは、ＥＵ加盟を目標とし、持続可能な経済成長を通じた安定したマクロ経済の維持及び海外直接投資の呼び込みに取り組んでいるが、今後の経済成長のためには中小企業振興及び観光業等の促進が重要な課題である。 【開発課題への対応方針】 本分野では、これまでも中小企業振興、投資環境の整備に向けて、専門家派遣や研修員受入を中心に協力を進めてきており、今後も研修事業を中心に中小企業振興や観光振興等の分野における我が国の知見を活かした支援を行っていく。

協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間 2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	支援額（億円）	SDGs	備考
民間セクター開発プログラム	西バルカン地域中小企業メンター制度強化	個別専門家	■	■	■				3.88	8,9	
	西バルカンにおける持続可能な観光開発	個別専門家		■	■	■			0.60	8	
	民間セクター開発分野の課題別研修	課題別研修他	■	■	■	■				8,9	

重点分野２ （中目標）	環境保全
開発課題 （小目標） 環境保全	【現状と課題】 モンテネグロは大気汚染、森林火災対策や廃棄物管理などを含む環境保全分野で課題を抱えており、ＥＵが定める環境基準を達成するために更なる取組が必要である。 【開発課題への対応方針】 EUが進めている政策や法制度支援と協調する形で、日本の比較優位を見いだせる分野（大気汚染・廃棄物処理、防災等）について、各国に設置されている欧州統合担当機関との調整の上、専門家派遣や研修事業を中心に我が国の知見を活かして支援を行っていく。

協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間 2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	支援額（億円）	SDGs	備考
環境保全プログラム	国家森林火災情報システム（NFFIS）とEco-DRRによる災害リスク削減のための能力強化プロジェクト	技プロ	■	■	■				2.60	13,15	
	環境分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■	■				0.10	3,10,11	

重点分野３ （中目標）	保健医療・教育・社会サービス													
開発課題 （小目標） 保健医療・教育・社会サービス	【現状と課題】 モンテネグロでは都市部と地方部との間の経済社会サービスの格差が課題となっており、それら格差の是正に向けた更なる取組が必要である。			【開発課題への対応方針】 同国による都市部と地方部との間の経済社会サービスの格差是正に向けた取組を支援するとともに、住民の社会基盤及びその質の向上に向けて、社会サービスを提供するための基盤整備に資する支援を行う。特に、保健医療、教育分野を中心に社会的弱者が直接裨益する支援を、草の根・人間の安全保障無償等を活用し、引き続き行っていく。										
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 （億円）	SDGs	備考
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度			
		ICT分野の課題別研修	課題別研修		━━	━━					8,9	
		保健医療･教育分野の草の根･人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	━━	━━	━				0.16	3,4,10	

【凡例】　「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「基礎情報調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修、長期研修）、「JOCV」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型、SATREPS））「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「SDGs調査」（＝途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」、「ニーズ確認調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」）、「ビジネス化実証事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」）、実線「―――」（＝実施期間）、破線「- - - -」（＝実施予定期間）　※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf